

幸せへの道

「LGBT」って？

- 1 「性」ってなんだろう？
- 2 どんなことに困っているの？
- 3 わたしたちにできること



1 「性」ってなんだろう？

最近まで、世の中には「男性」と「女性」の二つの性別しかないと認識されてきました。しかし、姿、価値観、感情などが人によって異なるように、人間の「性」（セクシュアリティ）も二つに分けられるほど単純なものではありません。「性」は多様です。

(1) 「性」を考えると、四つの視点があります。

体の性

心の性

好きになる性

表現する性

体の性 【生物学的な性】

生まれもった性のこと。性染色体、内・外性器の態様などから決定されるもの。

心の性 【性自認】

自分が自分の性をどのように認識しているかということ。

好きになる性 【性的指向】

恋愛の対象とするのは、男性なのか、女性なのか、あるいは性別に関わりなく恋愛対象とするかということ。



表現する性 【性的表現、ジェンダー表現】

服装や言葉遣いなどで、自分を表現する性。性自認と性的表現が一致するとは限りません。

(2) 性の視点から見たときの少数者を、「**性的マイノリティ**」
(性的少数者、セクシュアル・マイノリティ) といいます。

「**LGBT**」とは、レスビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとって組み合わせたものです。直接的には、この四つを表していますが、広い意味で全ての性的マイノリティを包括して表す場合もあります。

Lesbian レズビアン (女性同性愛者)

心の性が女性で、好きになる性が女性の人のこと。



Gay ゲイ (男性同性愛者)

心の性が男性で、好きになる性が男性の人のこと。

Bisexual バイセクシュアル (両性愛者)

好きになる性が異性の場合も同性の場合もある人のこと。

Transgender トランスジェンダー

体の性と心の性が一致しないという感覚 (性別違和) をもっている人。

医療機関で、体の性と心の性が一致しないと診断された人たちに対する医学的な診断名を「性同一性障がい」(「GID (Gender Identity Disorder)」) といいます。

性はグラデーションで、「男性」と「女性」のように明確に線引きできるもじゃないんよ。

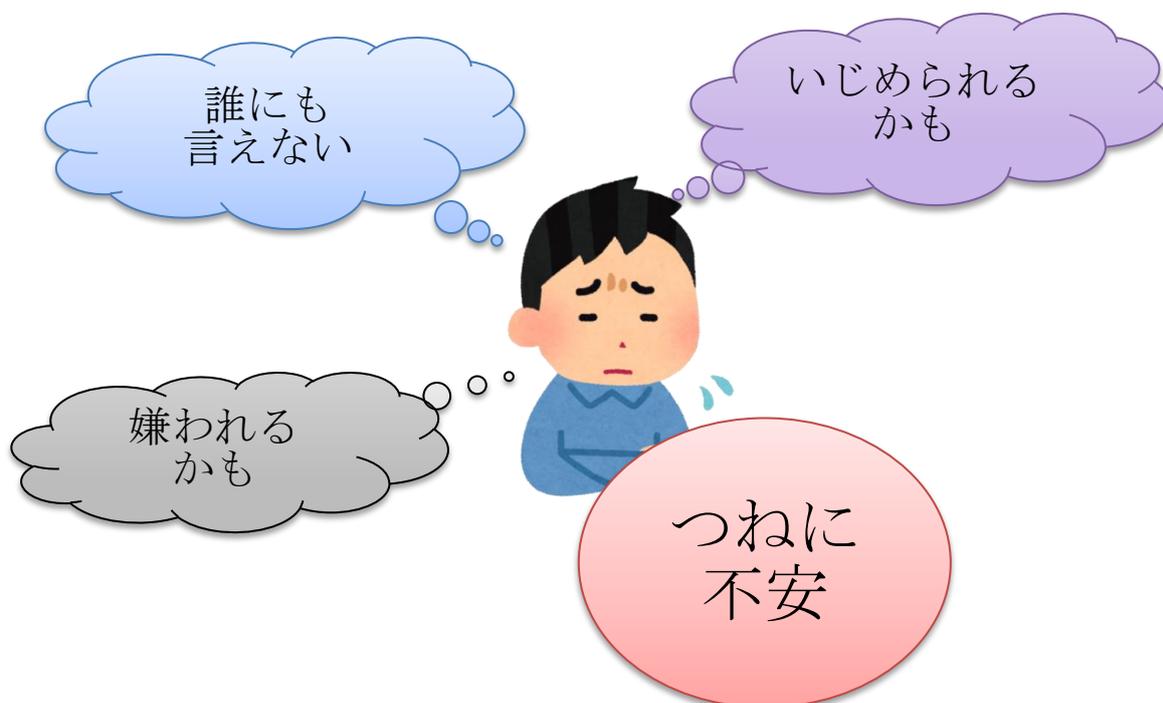


(3) みなさんは、LGBTの人が「身近にいない」、「出会ったことがない」、だから自分とは関係ないと思っていないですか？

性的マイノリティは、全人口の 7.6%、人口の約 13 人に 1 人 (※1) 存在するといわれています。これは日本に住んでいる左利きの人や AB 型の人割合にほぼ一致する数字です。この割合で考えると、学校では 40 人学級に 2~3 人いるということになります。

「身近にいない」、「出会ったことがない」のではなくて、本当のことが言えず、ありのままに生きられなくて、苦しんでいるのかもしれない。

※1 2015 年に電通ダイバーシティ・ラボが全国 7 万人対象を行った調査による。



2 どんなことに困っているの？

世間に誤解があふれている

- × L G B Tは趣味、性的嗜好^{しこう}である。
→ ● 性は選んだり、変えたりすることはできません。
- × 同性愛は病気である。
→ ● 国際社会では、自分らしさ、個性の一つとしてみなしています。(※2)
- × 子どもに教えると悪影響である。
→ ● L G B Tに該当する子どもは学級にいる可能性があります。正しい理解を促していかなければ、辛い思いをする子どもたちが出てきます。保護者に対しても同様です。
- × 同性婚を認めると少子化につながる。
→ ● L G B Tに該当する人は以前からいます。少子化の問題は別のところに原因があります。この考えをもつことが差別や偏見につながります。
- × 男性の同性愛者を「ホモ」と呼んでもよい。
→ ● 「ホモ」や「レズ」、「オカマ」は同性愛者を侮辱^{ぶじやく}する差別的な表現です。使ってはいけません。

※2 1990年にWHO（世界保健機関）が、「同性愛者はいかなる意味でも治療の対象ではない」という見解を発表しています。



同性愛者が身近にいるという認識がない人が多い

恋愛に関する話題などは異性愛を前提にしたものになりがちです。このような話題を避けるために、休憩時間や食事時間のコミュニケーションを自ら避ける人もいます。

また、同性愛者を笑いのネタにしたり、からかったりするような雰囲気の中では、同性愛者の心身に対するダメージは深刻です。

日常生活において、性別（体の性）で分けられる場面が多い

トランスジェンダーの人にとって、特にトイレの問題は深刻です。男性用、女性用、どちらのトイレにも行きづらいため、公共空間ではトイレを極力我慢し、膀胱炎などの排泄障がいはいせつしょうを患う人もいます。

近年、誰でも利用できる多目的トイレや、性別で区別していないトイレが普及しつつありますが、これはトランスジェンダーの人への配慮にもつながっています。



進学や就職活動のときにも…

- 受験票や履歴書りれきしょに性別をどのように記述するか悩む。
- 性別が明確な制服やスーツを着ることに抵抗がある。

「男らしさ」「女らしさ」を求められる

「もっと女の子らしくしなさい」、「男なんだから男らしくしろ」
そう言われる度にトランスジェンダーの子どもたちは苦痛を感じ
ます。友達からいじめられたり、からかわれたりすることが原因で
不登校になったり、自傷行為じしやうこういをしたり、うつ症状
から自殺につながったりすることもあります。

また、社会人になってからも、周囲の無理解か
ら生きづらさを抱えてしまうことも少なくあり
ません。



同性婚が法的に認められていない

日本では、同性カップルの婚姻こんいん、またはそれと同等のパートナー
関係が法的に認められていません（2017年現在）。そのため、病
院に入院しているパートナーの面会を「家族でない」という理由で
断られる、不動産業者から賃貸契約ちんたいを断られるといった問題をはじ
め、子育て、遺産相続いさんそうぞくなど、同性カップルは様々な困難に直面して
います。

2015（平成27）年、東京都渋谷区で同性パートナーシップを「結婚」に相当する
関係性とし、証明書を発行する条例が成立しました。続いて東京都世田谷区や三重
県伊賀市などでも要綱が成立しました。これらは条例や要綱であり、同性婚が認め
られたわけではありません。（※3）同性パートナーシップを含め多様性尊重の取組
を推進していくという宣言です。このような動きが目に見える形で行われること
によって、人々への認知が広がっています。

海外では、同性婚が認められている国（オランダ、ベルギーなど）や、同性パー
トナー法がある国（ドイツやアイルランドなど）があります（2017年現在）。

※3 パートナーシップ証明制度は、法的に認められた婚姻とは違い、
相続や税金の配偶者控除などはありません。
（「一人ひとりが自分の力を生かせる渋谷に。」より一部抜粋）



3 わたしたちにできること

一人でも多くの人が多様な性を理解すれば、自分らしく過ごせる場が増えていきます。周囲の人が理解者になれば、今いる場所が「居心地のよい場所」になります。

そのために、どんなことができるでしょうか。

正しい知識をもち、固定観念を押しつけない

「男は結婚して一人前」、「もっと女らしく」など性別の固定観念^{こていかんねん}を押しつけることを避け、互いの思いや表現を尊重しましょう。あたりまえは一つではありません。他者のあたりまえを否定したり、自分のあたりまえを押しついたりせず、他者を尊重する姿勢が重要です。

また、周囲に当事者がいることを常に意識して、使う言葉に気を配りましょう。

もし、差別的な言動を見かけたら…

みんなと一緒に笑わない、同調しないというだけでは不十分です。「そういうの、よくないよ」、「やめようよ」と注意することが必要です。間違っていることを毅然^{きぜん}と指摘^{してき}する勇気が必要です。このことはLGBTに関する問題だけでなく、他の人権問題も同様です。あなたの一言が社会をよりよく変えていくきっかけになります。



もし、あなたが、家族、友達、同僚から打ち明けられたら…

自分が当事者であることを打ち明けることを「カミングアウト」といいます。カミングアウトはとても勇気のいることです。考えに考え抜いて「この人なら信頼できる」、「この人ならきっと受け止めてくれるはず」という人を選んで打ち明けています。まずは、しんし真摯にその人の話に耳を傾けましょう。



相談者に、一人ではないことを伝えてください。

- ・ 「話してくれてありがとう」と伝える。
- ・ 「何かできることない?」「一緒に考えよう」など、支える姿勢を伝える。
- ・ これまで打ち明けてきた人を確認するとともに、誰に伝えていいのかわかる確認する。
- ・ カミングアウトされたときに感じた疑問や気持ちを素直に伝える。

打ち明けた人も、打ち明けられた人も対等です。人間関係は互いを理解し合うことでつくられていきます。

ただし、カミングアウトするかしないかはその人の自由なので、決して強制してはいけません。本来、カミングアウトしなくても自分らしく生きることができるといえる社会でなければなりません。

また、本人の許可なく他人にばくろ暴露することを「アウトティング」といいます。アウトティングは重大な人権侵害です。

みんなが自分の「性」を尊重されて、自分らしく生きることができるといえる社会をつくらんといいかね。LGBTであってもなくても過ごしやすい環境をつくっていくことが大事なんよ。もちろん、これは他の人権課題にも言えることやけんね。



〈 参考資料 〉

- ・ 『みんなが自分らしく性の多様性を考える 性的指向・性自認・性別表現』（公財）人権教育啓発推進センター
- ・ 『人権ポケットブック④ セクシャル・マイノリティと人権』（公財）人権教育啓発推進センター
- ・ 『LGBT ってなんだろう？ からだの性・こころの性・好きになる性』 薬師実芳, 笹原千奈未, 古堂達也, 小川奈津己 著 合同出版
- ・ 『LGBT 問題と教育現場ーいま、わたしたちにできることー』 早稲田大学教育総合研究所 監修 学文社
- ・ 『LGBT を読みとくークィア・スタディーズ入門』 森山至貴 ちくま新書
- ・ 『性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について』 文部科学省
- ・ 『子どもの”人生を変える”先生の言葉があります。』平成27年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業 個別施策層のインターネットによるモニタリング調査と教育・検査・臨床現場における予防・支援に関する研究
- ・ 『わが子の声を受け止めて 性的マイノリティの子をもつ父母の手記』平成27年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業 個別施策層のインターネットによるモニタリング調査と教育・検査・臨床現場における予防・支援に関する研究
- ・ 『一人ひとりが自分の力を出せる渋谷に。』渋谷区
- ・ 『池上彰のニュース解説』「そうだったのかLGBT」テレビ朝日 2015年6月20日放送
- ・ 『アイユ』連載「ねえ、教えて性の多様性」（公財）人権教育啓発推進センター
- ・ 『早稲田学報 No. 1224』（2017年8月号）「特集 ダイバーシティ」早稲田大学校友会
- ・ 『西条市立丹原東中学校 職員研修資料』